

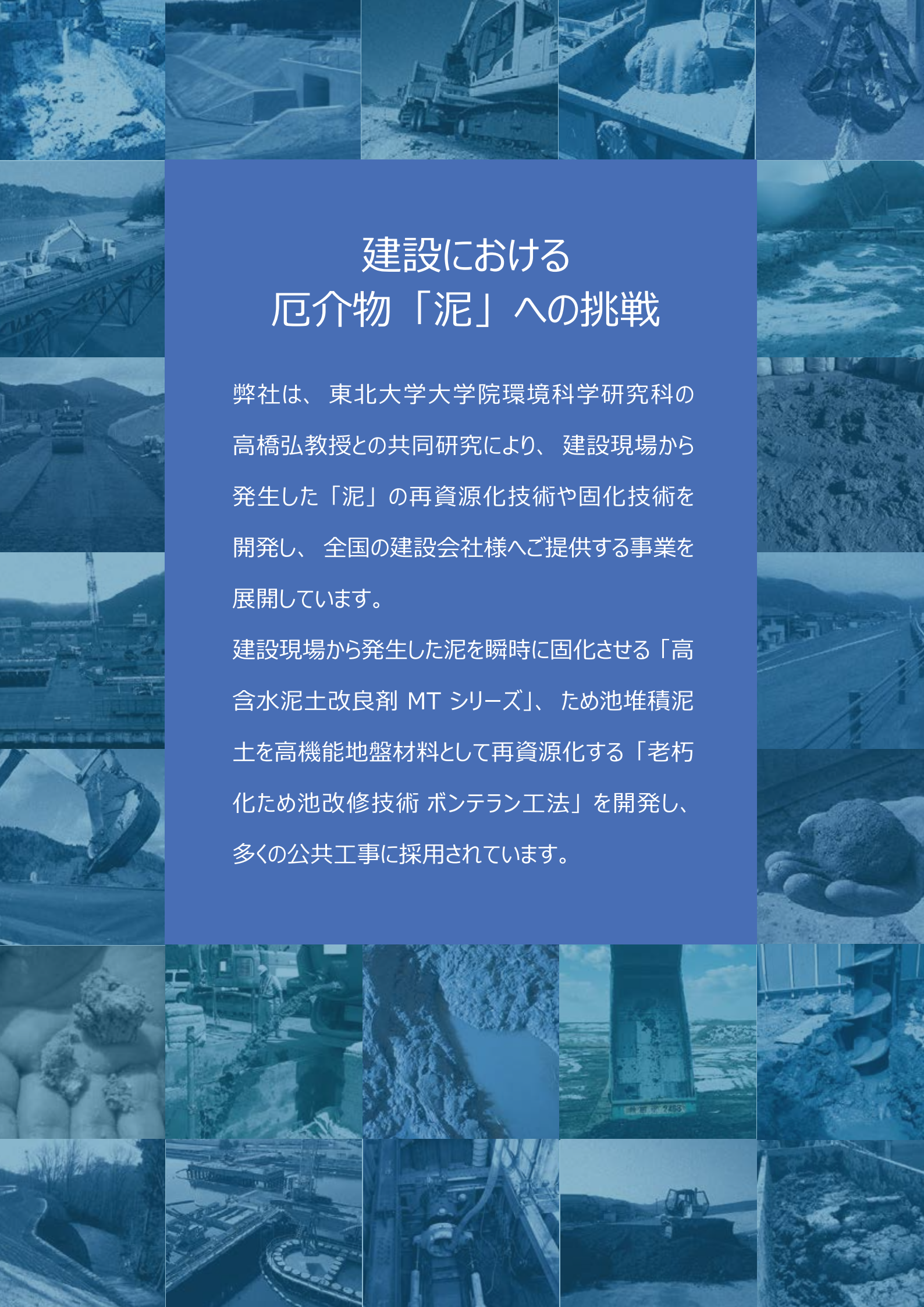


A Challenge for the
Troublesome “Mud”
in Constructions.

～「泥」への挑戦～



株式会社 森環境技術研究所
MORI Institute for Environmental Technology



建設における 厄介物「泥」への挑戦

弊社は、東北大学大学院環境科学研究科の高橋弘教授との共同研究により、建設現場から発生した「泥」の再資源化技術や固化技術を開発し、全国の建設会社様へご提供する事業を展開しています。

建設現場から発生した泥を瞬時に固化させる「高含水泥土改良剤 MT シリーズ」、ため池堆積泥土を高機能地盤材料として再資源化する「老朽化ため池改修技術 ボンテラン工法」を開発し、多くの公共工事に採用されています。

高含水泥土改良剤 MTシリーズ



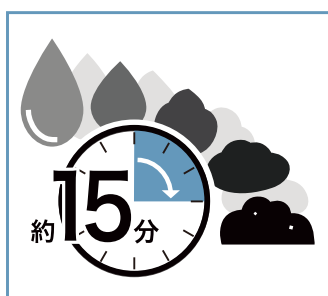
たった 15 分で固化！「泥」の搬出に特化した新しい改良剤

「高含水泥土改良剤 MT シリーズ」は、建設現場から発生した高含水泥土を短時間で固化し、ダンプトラックで即時搬出する際に使用する泥土改良剤です。

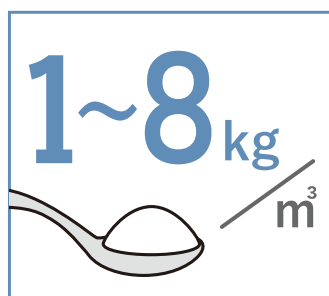
製品使用例



本製品の特長



短時間で搬出可能



低添加量で改質可能



本製品の pH は中性



NETIS 登録製品

老朽化ため池改修技術 **ボンテラン工法**



世界で誰もやっていない厄介物「泥」で堤体を造る技術

液状化に対する有効性実証。

国土交通省より「東日本大震災で効果のあった技術」として選定されました。

浜尾地区築堤工事で実証

砂質土



ボンテラン改良土



被災状況

砂質土を用いた浜尾地区堤体



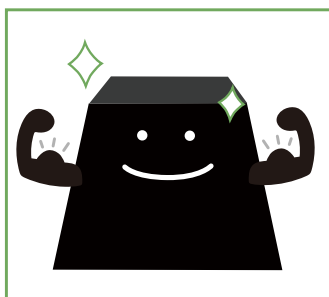
被災なし

ボンテラン改良土を用いた浜尾地区堤体

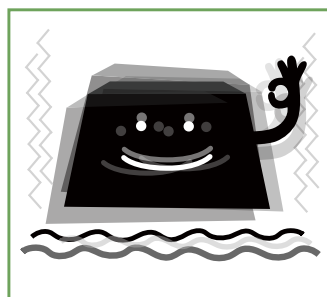
本工法の特長



クラックが入らない



高い耐久性



地震に強い

土木学会

学会誌連載企画
「土木技術十二選」

土木技術十二選 選定技術

こんなところに森環境

私たちの暮らしに欠かせない持続可能で豊かな国土形成、防災・減災事業。
その中の「泥で困った・・・」に、当社の独自技術が使われています。

港湾浚渫



建築地下掘削



河道掘削



ダム湖浚渫



地盤改良・基礎杭



トンネル掘削



ため池改修



災害復旧



会社概要

Company Profile

会社名	株式会社 森環境技術研究所
代表者	代表取締役 森 勇人
設立	2000年8月22日
資本金	1,000万円
従業員数	17名
所在地	本社：〒996-0071 山形県新庄市小田島町 7-36 工場：〒999-5604 山形県真室川町釜淵 827-42
TEL	0233-22-0832
E-Mail	info@mori-kankyo.co.jp
事業内容	・建設環境技術の開発 ・建設資材の製造および販売 ・粉体製品の受託製造 ・土質試験の受託業務
販売製品	・高含水泥土改良剤 MT シリーズ ・繊維質系泥土改良材ボンファイバー



沿革

2000年 8月	有限会社森環境技術研究所を設立
2000年 12月	ボンテラン工法が公共工事に初採用
2004年 9月	株式会社森環境技術研究所へ組織変更
2005年 12月	財団法人先端建設技術センターより技術審査証明（ボンテラン工法）を取得
2007年 7月	財団法人国土技術研究センター他主催の第9回国土技術開発賞において入賞
2008年 6月	内閣府他が主催する第6回産学官連携功労者表彰において「国土交通大臣賞」を受賞
2010年 11月	日刊工業新聞社が主催する第5回モノづくり連携大賞において「特別賞」を受賞
2014年 11月	日本経済新聞社が主催する2014年日経地球環境技術賞において「優秀賞」を受賞
2015年 4月	高含水泥土改良剤 MT シリーズの販売開始
2015年 11月	経済産業省が主催する第6回ものづくり日本大賞において「経済産業大臣賞」を受賞
2017年 3月	経済産業省・中小企業庁が実施する「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定
2020年 10月	経済産業省が実施する「地域未来牽引企業」に選定
2022年 1月	公益社団法人土木学会「土木学会誌」の連載企画「土木技術十二選」にボンテラン工法が選定・掲載



森環境技術研究所
MORI Institute for Environmental Technology



ものづくり日本大賞
経済産業大臣賞



地域未来牽引企業



2023年9月改訂